

真庭市立勝山小学校(〒717-0007 岡山県真庭市本郷 1801) 令和3年度 学校だより6号(5月1号:夢の勝山)  
 幸せになる練習 子育ては待つ練習 夫婦は許す練習 人生は笑う練習 **あいさつ率:中橋交差点 76.5%バス通 88.5%裏門 88.6%**



# 勝山

★勝山漢字HP掲載中★

卒業するまでに、逆上がり、二重跳び50回以上、漢字は毎回100点をとれる子に

Tel:0867-44-3141 Fax:0867-44-3142 Mail:katsuyama\_es@maniwa.gse.okayama-c.ed.jp

小学校で大切なこと  
**学校が好き**  
**学び方がわかる**  
**人とうまく関われる**  
**コロナに勝つ!!**



## 夢の勝山小学校

～永遠に続く学校であるために～

A 小学校に勤務していた30年以上前の話。「夢の学校」というテレビCMで、長嶋茂雄が語りました。

「どんなに時代が変わろうと、夢のない時代などありません。さあ、夢の学校をいっしょに作ろう」・・・。

若かった私は、有名スポーツ選手と夢を語るという企画に飛びつきました。当時の100m走世界記録保持者カールルイスを指名し、子どもたちと応募はがきを出しました。落選でしたが、あきらめきれず「夢の学校企画書」を事務局に提案すると、特別枠で採用。カールルイスは来ませんでした。提供企業から栄養ドリンク1300本と図書30冊が届き、前東京オリンピック選手の木原光知子さんが学校へ来ました。木原さんの夢の話、クラス代表の夢宣言・・・。テレビ局から新聞社まで多くのマスコミの取材で大いに盛り上がりました。

B 小学校時代、40代の私は、「地域との連携」をすすめました。総合的な学習の時間に「和を極める」という日本文化を学ぶ授業をつくり、日本舞踊、三味線、尺八、柔道、剣道、弓道、空手等を学ばせました。指導者はすべて地域のボランティアの方々でした。一方で、「地域の新たな祭り」も考えました。ここ数年ブームになっているハロウィンです。17年前の話です。通学班ごとに見守りサポーターの家々を変装したまま訪ねました。訪問先では、校歌を歌い、クイズをし、サポーターの肩もみをすることもありました。高齢の方は涙を流して喜んでくれました。ある自営業の方は、「登下校で変なおじさんに出会ったら、うちに逃げてきんちゃいよ」と言ってくれました。11時の登校時刻までに一人一人が背負うほどのお菓子をいただき、「こんなにかわいくて楽しい行事なら1年に何回あっても協力するよ」と現金を包んでくださる方まで現れました。全校児童190名に対し、登下校の見守りサポーターは200軒。家々には黄色いハンカチが掲げてあり、地域の熱い応援に涙が出ました。どこにもない学校行事、それを実現できたのは、やる気あられるC校長の存在があったからです。「和を極める」授業は15年間継続して取り組み、今はクラブ活動として実施されているのですが、ハロウィンは私の転勤とともに地域の人から惜しまれながら5年間で消滅してしまいました。あと5年あれば、地域が主催者となり、残っていたかもしれませんが、一教諭にできる限界でした。

振り返ると我が道を突っ走るばかりの教員生活でしたが、私なりに常に一生懸命でした。退職後、再びチャンスを得た勝山小学校では、校長として残り2年足らずですが、校長にしかできない最後の役割を果たしたいと思っています。永遠に勝山小学校は続き、残ってほしい。そんなことを思いながら・・・。

さて、下の表は、令和2年7月1日現在の住民情報と昨年度の出生数を元に予測した勝山小学校の入学予定者と全校児童数です。この数字を少ないとみるか、意外に多いとみるか。いずれにしても、安定的な人口なしには私たちの安定した未来ありません。世界最速で進む日本の少子超高齢化社会。モデル無き時代をどう前向きに生き抜くか。国や政治、社会のせいにしていても解決しません。私たち一人一人に何ができるのか。それを具体的に示すチャンスかもしれません。**ゆでガエル**にならないために。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入学予定者	23人	34人	28人	36人	25人	34人
勝山小学校全校児童数予測	<b>195</b> 人	<b>190</b> 人	<b>191</b> 人	<b>191</b> 人	<b>186</b> 人	<b>180</b> 人



田舎を生かす視点が学校にはもっと必要だと感じています。ちなみに「**ゆでガエル理論**」とは、ゆっくりと進行する危機や環境変化に対応することの大切さ難しさを戒めるたとえ話です。



# 10年後～夢の勝山小学校区

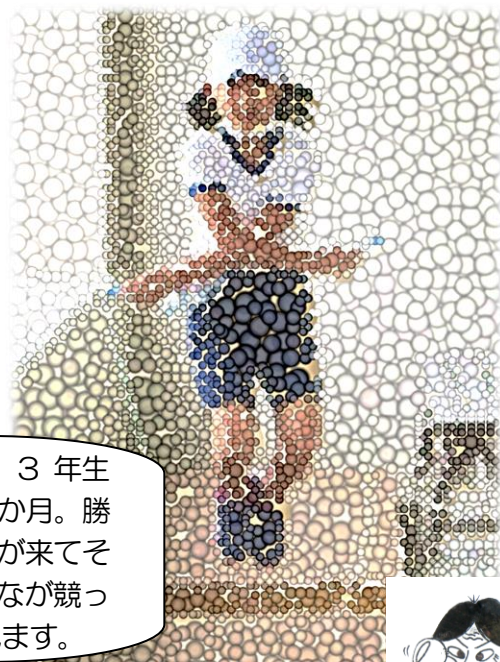
○小学校 □地域 ★効果・周囲の評価

- 全国平均以上の学力（NRT53）高学年ほど学力が高く自学の習慣がついている（現在はNRT 国語 47.2 算数 47 やや低い）
- 体力テスト 70 勝：勝率 72.9%以上（現在 41 勝：勝率 42.7%）
- 魂（気持ちの良い）のあいさつ 100%（現在 5%）
- 変心カードが定着（現在は取り組んでいない）
- 全員が逆上がりをし、漢字テストはいつも 100 点
- 縄跳びで二重跳びは当たり前、三重跳びをする子がごろごろ出現
- 夏休みラジオ体操を子どもが地域を巻き込んで取り組んでいる
- 子どもは地域の宝という意識が強く、子育て世代をサポート
- 学校・地域・保護者が同じ目線で子どもを良くしようとする
- 大人は、課題を人のせいせず自分にできることは何かを考える
- 遊びの中で上級生が下級生の世話をし、縦のつながりが強化
- 郷土愛が深まり将来勝山のために尽くそうとする「人財」が育つ
- 大人同士の仲が良く自然に人が集い、少子超高齢化を克服??
- ★他の学区から勝山小学校へ通わせたいと希望する保護者が増える
- ★勝山地区に住みたいと思う子育て世帯・若者が殺到する
- ★少子超高齢化克服の糸口が見え全国で注目の的となる

こんな勝山小学校区になったらいいですね。

# 縄跳び練習台

二重跳びは、1 回跳べるまでに相当な練習が必要です。さらに、2 回連続で跳べるのも同じくらい練習が必要です。3 回連続で跳べるようになれば、努力の成果を実感できますが、多くの子はここでつまずきます。努力した成果が実感できないからです。この苦しみを軽減するのが縄跳び練習台です。その気になれば、3 年生で三重跳びを跳べるようになります。



以前勤務した学校では、おじいちゃんが自宅に縄跳び練習台を自作。3 年生のお孫さんが三重跳びをするまでになっていました。勝小生活 13 か月。勝小では、今のところ三重跳びができる子は出現していません。友達が来てそれぞれがゲームをするという寂しい遊びから近所の子が集い、みんなが競って外で縄跳び練習をする風景をつくりませんか。約 4000 円で作れます。



# これでいいのか子どもの体力

子どもの体力低下問題がクローズアップされたのは、平成 14 年の中央教育審議会答申がきっかけでした。体力の低下は身体を使った遊びの経験不足だとされ、「体力を重視しなくなったこと」「生活環境やライフスタイルの変容」、その結果として運動や外遊びの3間（時間、空間、仲間）が減少したことであると指摘されました。その後、やや持ち直したものの、11 歳の体力がピークだった昭和 60 年度（現在 46 歳前後の世代）に比べると依然低いままです。このデータに勝山小の 11 歳のデータを並べると圧倒的な差に愕然とします。なんとかしなければ…。

昭和 60 年度と平成 27 年度の 11 歳の全国平均、本校の 11 歳の身長・体重・体力の比較

	11 歳男子				11 歳女子			
	S60 全国	H27 全国	H27 勝山	R2 勝山	S60 全国	H27 全国	H27 勝山	R2 勝山
身長 cm	<b>143. 2</b>	145. 2	142. 9	146. 3	<b>145. 5</b>	146. 7	142. 5	144. 3
体重 kg	<b>36. 5</b>	38. 2	37. 7	39. 1	<b>37. 8</b>	38. 8	34. 7	37. 7
握力 kg	<b>21. 08</b>	20. 26	16. 1	15. 5	<b>20. 49</b>	19. 73	15. 5	20. 06
50m走(秒)	<b>8. 75</b>	8. 78	8. 7	9. 02	<b>9. 00</b>	9. 12	8. 8	9. 06
ソフトボール投げ m	<b>33. 98</b>	27. 41	24. 3	27. 4	<b>20. 52</b>	16. 50	18. 2	17. 42

【学校保健統計調査】総務省統計局データより昭和 60 年度、平成 27 年度を抜粋

運動は体力作りのためだけではなく、何よりも長寿にもつながる健康体力の維持のためです。さらに、やる気物質ドーパミンを増やし「やればできる」を実感させるためでもあります。運動で実感した自己有能感や忍耐力は、必ず学習への意欲にもつながります。